

希 望



～みんながつくる みんなの銚田南小学校～

令和 2 年 1 2 月 1 日

今日から師走です！

今日から、12月（師走）になりました。街路樹の木々も今まさに紅葉のピークです。2020年（令和2年）も最後の月となりました。月日のたつのは実に早いものです。

新型コロナウイルスの感染症もまだまだ目が離せない状況です。緩めずに対応していくしかありません。そのような中、子供たちはがんばって活動しています。2020年の締めくくりをしっかりと、2021年を迎えたいものです。12月も保護者の皆様のご支援・ご協力をよろしく申し上げます。



◎ 1・5・6年生遠足終わる！

1年生：大野潮騒けまなす公園 5年生：筑波山 6年生：水戸

11月は1・5・6年生の遠足が、天候にも恵まれて無事に実施することができました。子供たちは、ソーシャルディスタンスを確保しながら、バスの中や見学、移動など約束を守りしっかりと活動することができました。制約の多い中にもかかわらず、楽しい思い出ができたようです。お陰様で遠足は全学年実施することができました。保護者の皆様のご協力感謝申し上げます。



【1年生の様子】



【5年生の様子】



【6年生の様子】

◎ 生きる教育講演会を開催！

去る11月20日（金）本校体育館において龍ヶ崎済生会病院の産婦人科医の陳央仁先生を講師としてお迎えし、6年生を対象に生きる講演会「生命の誕生とその大切さ～自分らしく生きる～」を開催しました。

子供たちは、『自分はかけがえのない存在であること』『愛されていること』『自分は、愛されるために生まれてきた』ことなど多くのことを学びました。



◎ 学校の様子から

新しい学校の生活様式が定着してきました。茨城県はステージ3に上がりました。今まで以上に感染症には十分に注意しながら少しずつ教育活動を拡大しています。今後とも保護者の皆様には引き続きご理解とご協力をお願いいたします。



【6年生：チョークアート】



【4年生：音楽】



【5年生：社会】



【クラブ活動】

◎ 人権週間（12 / 4 ~ 10）

11月16日6校時に人権集会をリモートを使って実施しました。内容は、「新型コロナウイルスにかかる差別やいじめについて考える」という内容で行いました。子供たちは真剣に視聴し考えていました。

私が社会科の教員として子供たちに伝えてきたこと、これからも伝えていかなければならないことは『人権・平和』です。二度と戦争という惨禍を子供たちに味わわせてはならないと言うことです。『人』という字に上から『刀』を入れると『分』という字になります。『分』を使った2字熟



【リモートでの集会の様子】熟語には、分裂、分離、分散、分断、分解などがあり、その最悪のパターンがすなわち『戦争』です。



人間の様々な違いはみんなその人の個性です。そういう個性をもつ一人一人が差別されることなく、個人として尊重され、尊厳を維持できるようにするのが人権です。人権が尊重されてこそ、充実した自由な生活を送ることができるのです。その原点はあらゆることに対して「人権の視点」でみる目を養う必要があります。相手の立場に立つととってもいいと思います。相手の立場に立ったときに『いじめ』や『差別・偏見』の問題はなくなります。「人権週間」にちなんで「人権」について考えて欲しいと思います。

◎ 銚田市建設業協議会様によるボランティア活動

去る11月14日（土）に、銚田市建設業協議会様による学校施設環境整備事業（ボランティア活動）が行われました。

この日は普段、教職員ではできない調整池のまわりや正門付近の斜面の除草作業を行っていただきました。8名作業員の方がお見えになり、朝早くから作業をして下さいました。お陰様で大変きれいになりました。この場をお借りいたしまして、銚田市建設業協議会の皆様へ感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



【作業の様子】

◎ 12月の行事予定

日	曜	行 事	日	曜	行 事
3	木	計画訪問	14	月	スクールソーシャルワーカー来校日（小橋先生）
4	金	家族で一緒にお弁当を作る日 6年生お楽しみ給食 学びの広場（4・5年生）	16	水	アトラス食育キャラバン（5年生）
			17	木	スクールカウンセラー来校日（山口先生） クラブ活動（4～6年生） 薬物乱用防止教室（6年生） 家庭教育学級（1年生保護者）
8	火	スクールカウンセラー来校日（影山先生）	25	金	終業式
10	木	スクールカウンセラー来校日（山口先生） 諸会費納入日			

◎ ことばの花束

『あたり前』から『ありがたい』へ

（中井 俊巳：作家・教育評論家）

元教師であり作家・教育評論家の中井俊巳さんの言葉です。蛇口をひねれば水が出る。スイッチを押すと明かりがつく。新鮮な空気を胸一杯吸える。家がある。学校で勉強できる。家族がいること。仲間がいること。ほとんど無償であたり前にもなっています。

これらのことはあたり前でしょうか？あたり前だと思っていれば感謝する気にはなりません。でも、「あたり前」だと思ってきたものを「ありがたい（有り難い）」ものだと感謝するようになれば必ず変わります。不満や怒りは消え失せ、このあたり前の平凡な生活ほどなんて恵まれているのだろうと感謝が変わります。

○ 学校の様子を、随時HPで紹介しています。ぜひ、ご覧下さい。